

ゴム報知新聞

Japan Rubber Weekly

ゴム単純加工もお任せ!!

1枚から量産品迄!!

・シートカット

・平丸加工

MORITEQ

株式会社モリテック

www.moriteq.co.jp

本社/東京/名古屋

発行所 ポステイコーポレーション

東京都千代田区東神田2-1-3

(〒101-0081)

TEL (03) 3851-5391 (代)

FAX (03) 5820-3370 (編集)

Eメール info@posty.co.jp

購読料・年間 本体23,000円十税(送料込)

©ポステイコーポレーション 2016

TOCOM(東京市場)RSS3号(2月19日) 単位:円(1キログラムあたり)

限月	始値	高値	安値	終値	前日比	出来高
2016/02	139.0	141.0	139.0	141.0	▲1.6	22
2016/03	142.2	144.7	142.0	144.4	▲0.2	35
2016/04	145.5	147.8	144.7	147.3	▲0.3	32
2016/05	149.4	151.0	148.1	150.6	+0.0	108
2016/06	150.5	153.0	149.7	152.7	+0.3	370
2016/07	151.2	153.6	150.0	153.1	+0.6	3,888

タイヤ4社の15年12月期業績

タイヤ4社の15年12月期連結業績が出揃った。ブリヂストンと東洋ゴム工業が過去最高の営業・経営益を上げた一方、住友ゴム工業、横濱ゴムは減益となり明暗が分かれた。4社とも為替円安や原材料安というプラス影響、中国をはじめとした新興国の景気低迷やタイヤ販売価格の下落というマイナス影響を受けたが、北米市場で高収益を上げた社が好業績となった。今期は急激な円高や価格低下の影響を勘案し、各社とも厳しい業績予想をしている。

今期は円高、売価低下を懸念

ブリヂストンは売上高と営業利益、経営利益が過去最高となった。営業利益は、売値の低下や販費の増加などのマイナス要因はあったが、為替円安と原材料安がカバーし前期比3.9%増益の増益となった。東洋ゴムも、当期純利益は免震ゴム問題の影響で大幅減となったが、売上高、営業利益、経営利益とも過去最高となった。両社とも共通しているのは米国市場で高収益を上げている点。ブリヂストンは米州での売上高が前期比10%増、営業利益が同23%

増と日本を含むの地域に比べ架している。東洋ゴムは、価値品であるSタイヤが好調での売上高を大きく伸ばした。営業利益から日本へのロティ分を除けば米の利益が日本ついている(清水長)。住友ゴムは、経営利益は減したが、売上高と営業利益は過去最高。国内タイヤ4

米国市場の好調が



ブリヂストン 津谷正明 CEO



住友ゴム工業 池田育嗣 社長



技術提携先など模索

全インドゴム工業会

ミッショング初来日 中堅企業との交流求む



モヒンデル・グプタ会長

モヒンデル・グプタ会長は、インドの東西南北を網羅。自動車用ゴム部品をはじめホース、搬送・伝動ベルト、シ

ゴム工業会、ゴム協会、タイヤ協会など対応

全インドゴム工業会(AIRIA)・モヒンデル・グプタ会長のミッショングが2月8日から13日までの日程で来日し、ゴム製品メーカー、合成ゴムメーカー、原材料商社など5社などを訪問。また12日には日本ゴム工業

の工業技術と企業とのタイアップが必要で、積極的な交流を持っていく第一歩にしたい」と抱負を述べた。さらに、「日本はインドと自由貿易協定(FTA)を含んだ経済連携協定(EPA)の締結で関税が廃止されておりゴム原料や製品の輸出入の面でも有効だ。今後の成長に日本

乗用車用タイヤ増産

横浜ゴム 投資額37億円、新城工場

横浜ゴムは2月12日、新城工場(愛知県新城市)で内径18インチ以上の乗用車用ハイインチタイヤを増産すると発表した。

藤倉ゴム工業

新社長に森田常務

中社長は取締役相談役に



森田健司氏

藤倉ゴム工業は2月10日、同日開催の取締役会で代表取締役社長に森田健司常務取締役が就任する人事を決議したと発表した。正式就任は4月1日。中光

好代表取締役社長は取締役相談役に就任する。森田健司(もりた・けんじ)氏の略歴 1958年5月30日生まれ、57歳、埼玉出身。東京国際大学商学部商学科卒業。1981年4月同社入社、2005年4月管理本部経理

今年5月から新ライン建設作業を開始し、17年6月にラインを立ち上げ、18年4月までにフル生産可能な状態にする。投資額は約37億円。今回の増産投資によって新城工場の18インチ以上の乗用車用ハイインチタイヤの年間生産能力は現在に比べ約20%増加する。

生産能力追加増強へ

東洋ゴム 北米タイ 16年末1150万本体制

東洋ゴム工業は2月15日、北米タイヤ製造子会社「トヨタタイヤ・ノースアメリカ・マニファクチャリング・インク」(略称・TNA)の第13

東拓工業 中期経営計画

東拓工業は、16年度強化する。その一つが建設。敷地面積は約4万6000㎡で、そこ

分の予定。工業用ホース、電設資材、土木資材の一部を生産する。新工場建設により、